

情報公開文書

OCT angiography に関する研究へのご協力について

京都大学医学部附属病院眼科では、以下に該当される被検者を対象とした臨床研究（観察研究）を実施しております。

課題名：OCT angiography による眼科疾患の病態解明に関する研究

● 対象となり得る研究対象者

2015年2月1日から2016年10月28日までに京都大学医学部附属病院眼科において通常診療としてOCT angiographyの画像データを取られた方

※上記に該当される方のうち一部の方が今回の研究対象となり得ますが、全員が該当するわけではありません。

● 今回の研究で利用する情報

視力・眼圧・眼軸長・屈折値・角膜曲率半径・角膜形状解析結果・前眼部検査結果・中間透光体検査結果・眼底検査結果・網膜電図検査結果・眼位検査結果・両眼視検査結果・視野検査結果・問診内容・眼底写真・造影検査画像・OCT画像・OCT angiography画像といった通常診療で得られた情報を利用します。

<上記調査方法>

本研究は、過去の画像やカルテなどの診療記録から得られる情報を用いて行います。そのため、今回の研究への登録においてあらたに検査を受けてもらう等、負担をお願いすることはございません。

● 研究の意義・目的

近年科学の発達とともに種々の検査機器が登場し、それに伴って眼科の診断技術は大きな変化を遂げようとしています。そのひとつである光干渉断層計（OCT）は、目の中の網膜（カメラでいうところのフィルムにあたる部位）の断層像（横切り像）を身体的負担なしに撮像できるという画期的な診断装置です。これによって、色々な眼の病気についてのさまざまな新しい情報が得られるようになってきました。今回、私たちはOCTの撮影画像から血流情報だけを取り出し、造影剤を使用せずとも微細な網膜血管の描出を行うことができる最新技術（OCT angiography）の臨床評価を行うことを考えています。具体的な本研究の目的は、再構築した画像について、病態解明、治療効果判定など、その有用性を実証することです。

この臨床研究の実施については、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施するものです。利用させていただく情報は匿名化して扱われ、名前・住所などの個人情報が本研究で利用されることはなく、あなたのプライバシーは厳重に守られ、一切公表されません。

● 研究機関の名称・研究責任者

京都大学大学院医学研究科・眼科学 講師 宮田 学

● 利用または提供を開始する予定日

2016年10月28日

● 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名

京都大学大学院医学研究科・眼科学 助教 村岡 勇貴

● 研究資金・利益相反

本研究は、特定の企業からの資金提供を受けておらず、公的研究費である文部科学省科学研究費（基盤C：補償光学光干渉断層計を用いた滲出型加齢黄斑変性の病態解明と新規治療に関する研究）および委任経理金（眼科研究助成S）により実施します。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

● 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法

本研究について、ご自身が本研究に登録されるかどうかについて確認されたい場合や、何か気がかりな点、本研究の内容についてより詳しく聞きたい場合や、本研究に関する資料の閲覧の希望などございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

本研究の登録対象に該当する場合であっても、本研究への協力を希望されない場合は、本研究の対象者から外れます。その際は、遠慮なく下記までご連絡下さい。

（研究責任者） 京都大学大学院医学研究科・眼科学 宮田 学

TEL: 075-751-3727

（相談窓口） 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

TEL: 075-751-4748

E-mail: ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp